

3 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

ア 収益的収支の予算執行状況（概括）

収益的収支にかかる予算の執行状況は、次のとおりである。

収益的収支の予算執行状況

収入 (単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	予算額に対する 決算額の増減	執行率
水道事業収益	4,731,085	4,812,864	81,779	101.7
営業収益	4,716,199	4,798,047	81,848	101.7
営業外収益	14,684	13,291	△ 1,393	90.5
特別利益	202	1,526	1,324	755.4

(備考) 決算額には、仮受消費税及び地方消費税 227,430 千円を含む。

支出 (単位：千円・%)

区 分	予算現額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	4,279,810	4,037,461	242,349	94.3
営業費用	3,982,245	3,781,309	200,936	95.0
営業外費用	258,441	246,112	12,329	95.2
特別損失	19,124	10,040	9,084	52.5
予備費	20,000	0	20,000	-

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 75,938 千円並びに消費税及び地方消費税納付額 31,932 千円を含む。

イ 収益的収入の予算執行の主な内容等

〔営業収益〕

給水収益……………水道料金（基本料金、従量料金）、分水料金及び応援給水料金
(決算額 4,697,833 千円)

- ・ 分水料金 : 広川町 2,753 千円、大木町 7,580 千円(西部配水場からの分水を含む)
- ・ 応援給水料金: 福岡県南広域水道企業団 109,337 千円

- 水道料金収入状況（納期内）：最近5年間の納期内料金収納状況は、次表のとおり。収納率は98%台後半で推移し、本年度は98.6%である。

区 分	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
収納件数 (件)	630,210	635,148	640,549	644,319	649,473
収納金額(千円)	5,091,515	5,054,685	5,074,727	4,626,296	4,631,925
納期内収納率(%)	98.9	99.0	98.7	98.6	98.6

(備考) 本表の納期内収納率は、3月末までに調定した料金で、その正当な納期（4月末日のものがある。）までに収納された額を算入したものであり、本意見書「4 経営成績 (4)営業収支」に掲げる決算ベースの収納率（3月末時点での納期未到来分を未収額とするもの）とは異なる。

上の表における平成21年度の収納金額の内訳を納付方法別にみると、口座振替による収納が72.4%（収納率99.7%）、口座振替以外による収納が27.6%（収納率95.8%）となっている。

受託工事収益……………給水栓等取替料 (決算額 5 千円)

その他営業収益……………給水装置工事手数料、事務受託手数料、消火せん維持管理負担金
など (決算額 100,208 千円)

- 給水装置工事手数料： 需要家は、企業局に対して指定工事店による代理申請を行い、企業局は、審査、監督、検査などに伴う手数料を需要家から受領している。
(8,736 千円)
- 事務受託手数料： 下水道業務受託料及び簡易水道検査等その他事務受託料 (72,523 千円)
- 消火せん維持管理負担金： 消火せん維持管理に伴う負担金で、事務費等を含む実費を、久留米市に対して精算請求している。
(10,830 千円)

〔営業外収益〕

受取利息……………預金利息、有価証券利息 (決算額 3,551 千円)

- 本年度は、運用可能資金を、①大口定期預金、②譲渡性預金、及び③国内公債の購入（本年度は政府短期証券のみ）に振り分けて資金運用を行っている。
(それぞれの利息収益額は、①1,370 千円、②1,802 千円、③379 千円)

雑収益……………行政財産使用料（職員駐車場料金、自動販売機設置料等）、保険料収入、藤山施設使用料、その他の雑収益など (決算額 9,740 千円)

- その他雑収益： 刊行物の有償頒布のほか、西部配水場の大木町負担分などを含む。

〔特別利益〕

固定資産売却益……………その他固定資産（車両、メーター等）の売却益（決算額 123 千円）

過年度損益修正益……………過年度分水道料金、労働保険料の精算など（決算額 1,403 千円）

ウ 収益的支出の予算執行の主な内容等

〔営業費用〕

原水及び浄水費……………動力費（太郎原取水場及び浄水管理センター電気料金等
94,064 千円）

修繕費（浄水管理センター及び太郎原取水場設備等 75,843 千円）

委託料（浄水場運転管理業務、浄水場植栽管理及び浄水場電気計装設
備保守点検等 102,704 千円）

受水費（福岡県南広域水道企業団受水、並びに大木町及び筑後市受水
702,374 千円）

薬品費（浄水管理センター分 70,375 千円）

負担金（藤山系送水施設建設負担金等 86,676 千円）

報償費（残留塩素検査手数料 1,188 千円）など

（決算額 1,271,430 千円）

- ・ 受水費： 本年度分の福岡県南広域水道企業団受水料金（74 円×10,143,350 m³=750,608 千円）から、平成 21 年度一般会計繰出還元金 48,488 千円（企業団設立に伴う一般会計の出資金の一部が「一般会計繰出金の還元に関する覚書」に基づき還元されるもの）を差し引いたものに大木町及び筑後市受水料金 254 千円を加えたものである。

配水及び給水費……………動力費（西部配水場、藤山配水場ほか 12,352 千円）

修繕費（車両関連点検、メーター検定修理、材料及び単価契約による
配水管漏水修繕等 220,603 千円）

委託料（マッピングシステム保守点検業務、配水場設備点検等
49,147 千円）

賃借料（マッピングシステム賃貸借、軽トラック・ライトバン等借
上、企業局 LAN パソコン賃貸借、土地借上及び占用料等
10,364 千円）

薬品費（浄水管理センター分 1,709 千円）など

（決算額 578,827 千円）

受託工事費……………材料費 (決算額 1 千円)

業務費……………印刷製本費 (メーター検針及び料金収納関係帳票、各種お知らせ及び
通知等 5,659 千円)
通信費 (郵便料金 16,242 千円)
委託料 (検針業務、開閉栓業務、コンビニ収納、電算システムオペレ
ーション業務及び口座振替・窓口収納業務等 118,742 千円)
賃借料 (電子計算機システム賃貸借等 33,444 千円) など
(決算額 392,064 千円)

総係費……………退職給与金 (130,000 千円)
電力料 (合川庁舎 3,909 千円)
ガス料 (合川庁舎 4,001 千円)
委託料 (合川庁舎清掃等、財務会計保守、水道週間イベント運営等
10,953 千円)
使用料 (合川庁舎下水道料金等 2,276 千円)
賃借料 (企業局 LAN パソコン賃貸借、カラーコピー機賃貸借及び財
務会計システム賃貸借等 3,717 千円)
負担金 (日本水道協会会費等 6,536 千円) など
(決算額 348,775 千円)

減価償却費……………有形固定資産減価償却費
(建物、構築物、機械及び装置、車両運搬具、工具・器具・備品)
(決算額 1,090,321 千円)

資産減耗費……………固定資産除却費 (配水管、電気設備等) (決算額 99,892 千円)

[営業外費用]

支払利息……………企業債利息
(財務省財政融資資金、地方公共団体金融機構及び銀行等引受分)
(決算額 213,224 千円)

消費税及び地方消費税……………消費税及び地方消費税 (決算額 31,932 千円)

雑支出……………補償費等 (決算額 956 千円)

〔特別損失〕

固定資産売却損……………水道メーター及び車両等売却分 (決算額 239 千円)

過年度損益修正損……………過年度分水道料金調定減額、水道料金不納欠損など
(決算額 9,800 千円)

不納欠損処理額について

平成 21 年度決算における過年度分の「不納欠損処理額」は 7,069 千円で、平成 18 年度以前の未収金 3,306 千円のうち 1,402 千円、平成 19 年度の未収金 7,212 千円のうち 5,667 千円が、2 年の時効到来として不納欠損処理額に計上されている。

なお、平成 21 年度における不納欠損処理額の理由別内訳は次のとおりである。

(単位：件・千円)

区 分	件 数	金 額
停 止	716	2,434
市外転出	497	1,391
行方不明	797	2,183
自己破産（倒産）	25	291
死 亡	33	59
そ の 他	101	711
合 計	2,169	7,069

(2) 資本的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

ア 資本的収支の予算執行状況（概括）

資本的収支（設備投資など、支出の効果が翌年度以降に及び、将来的な収益に対応することとなる取引等の収支）にかかる予算の執行状況は、次のとおりである。

資本的収支の予算執行状況

収入 (単位:千円・%)

区分	予算現額	決算額	予算額に対する 決算額の増減	執行率
資本的収入	2,784,377	2,455,806	△ 328,571	88.2
企業債	1,582,300	1,304,800	△ 277,500	82.5
資本剰余金	1,202,073	1,150,809	△ 51,264	95.7
固定資産売却代金	4	197	193	4,925.0

(備考) 決算額には、仮受消費税及び地方消費税 3,866 千円を含む。

支出 (単位:千円・%)

区分	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率
資本的支出	5,151,150	4,544,274	351,636	255,240	88.2
建設改良費	3,413,188	2,868,720	351,636	192,832	84.0
第7次整備事業 本年度支出額	535,906	514,621	0	21,285	96.0
西部配水場整備 事業本年度支出	114,254	93,230	0	21,024	81.6
企業債償還金	1,067,801	1,067,703	0	98	100.0
補助金返還金	1	0	0	1	0.0
予備費	20,000	0	0	20,000	-

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 159,649 千円を含む。

資本的収支の不足額

以上の予算執行状況から、本年度の資本的収支における不足額は、以下のとおりとなる。

(補てん状況については、「(3) 資本的収支不足額の補てん状況」を参照)

資本的収入額 資本的支出額 資本的収支不足額
2,455,806 千円 - 4,544,274 千円 = △2,088,468 千円

イ 資本的収入の予算執行の主な内容等

〔企業債〕 ……………田主丸地区送水管整備事業、西部配水場整備事業のための起債

(決算額 1,304,800 千円)

〔資本剰余金〕……工事負担金（消火栓設置、下水道等他工事に伴う配水管布設・移設工事負担金など 115,052 千円）

加入金（61,495 千円）

国県市補助金（653,512 千円）

一般会計出資金（320,750 千円） （決算額 1,150,809 千円）

〔固定資産売却代金〕……水道メーター売却 （決算額 197 千円）

ウ 資本的支出の予算執行の主な内容等

〔建設改良費〕

建設改良費……委託料（浄水施設及び合川庁舎耐震診断業務委託、JR 久大本線麦生踏切横断推進工事実施設計業務委託等 42,331 千円）

工事請負費（田主丸地区送水管布設、浄水場受変電・1系水処理電気設備更新工事等 2,586,438 千円）など

（決算額 2,846,929 千円）

機械備品購入費……水道メーター

工具器具及備品（固相マイクロ抽出(SPME)用オートサンプラー等）

（決算額 21,791 千円）

（決算額 2,868,720 千円）

〔第7次整備事業本年度支出額〕

……工事請負費 469,238 千円（経年配水管整備改良等） など

（決算額 514,621 千円）

〔西部配水場整備事業本年度支出額〕

……工事請負費（89,954 千円） など （決算額 93,230 千円）

〔企業債償還金〕……財務省財政融資資金、地方公共団体金融機構、銀行等引受分の償還

（決算額 1,067,703 千円）

(3) 資本的収支不足額の補てん状況

資本的収支不足額の補てん状況は、次表のとおりである。

資本的収支不足額の補てん財源及び補てん状況

(単位:千円)

区 分	金 額	補てん額	残 額
消費税及び地方消費税資本的収支調整額〔当年度分〕	120,114	120,114	0
減債積立金	600,000	600,000	0
建設改良積立金	283,650	0	283,650
損益勘定留保資金〔過年度分〕	1,485,345	1,368,354	116,991
損益勘定留保資金〔当年度分〕	1,190,452	0	1,190,452
計	3,679,561	2,088,468	1,591,093

(備考)

- 1 消費税及び地方消費税資本的収支調整額： 仮受消費税額等と仮払消費税額等との差額を、資本的収支予算の調整額として会計上別途留保するもの。
- 2 損益勘定留保資金： 実際の支出が行われずに帳簿上計上される費用の合計額。内部留保資金にできる。

損益勘定留保資金の推移

(単位:千円)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
減価償却費	984,033	1,006,924	1,023,094	1,066,979	1,090,321
固定資産除却費	149,477	147,814	95,445	121,313	99,892
固定資産売却損	3,061	1,810	684	1,285	239
たな卸資産減耗費	278	259	180	0	0
当年度分計	1,136,849	1,156,807	1,119,403	1,189,577	1,190,452
過年度分	708,564	842,871	804,754	1,359,079	1,485,345
合 計	1,845,413	1,999,678	1,924,157	2,548,656	2,675,797
資本的収支不足額 の補てん額	1,002,542	1,194,924	565,078	1,063,311	1,368,354
差引(残高)	842,871	804,754	1,359,079	1,485,345	1,307,443

本年度の損益勘定留保資金の差引(残高)は、前年度より減少している。

これは、過年度分及び当年度分の損益勘定留保資金が前年度より増加したものの、損益勘定留保資金から資本的収支不足額の補てんのために充用する額がそれ以上に増加したことによる。